

令和4年度

公営企業会計決算資料

福井県流域下水道事業

土木部

項 目 頁

流域下水道事業会計における決算状況について

1	損益収支の状況	1
2	今後の経営状況	2
3	事業収益の状況	2
4	事業費用の状況	3
5	企業債残高の推移	3

令和4年度 福井県流域下水道事業会計における決算の状況について

1 損益収支の状況

令和4年度の流域下水道事業会計については、事業収益が24億5,147万6千円、事業費用が25億3,857万9千円となり、8,710万3千円の純損失が生じた。主な要因は固定資産の減価償却にかかる減価償却費(営業費用)と長期前受金戻入(営業外収益)の差額であるが、これらは現金を伴わない収支である。

流域関連3市の負担が大きくなるよう下水道事業特別会計から引き継いだ繰越金を戦略的に活用しており、令和4年度末の繰越金残高は5,900万円減少し9億700万円となった。

(単位:千円)

事業収益		事業費用	
営業収益	808,300	営業費用	2,506,102
営業外収益	1,643,176	営業外費用	32,477
計	2,451,476	計	2,538,579
純損失			87,103
前年度繰越欠損金			347,825
当年度未処理欠損金			434,928
欠損金処理			0
繰越欠損金			434,928

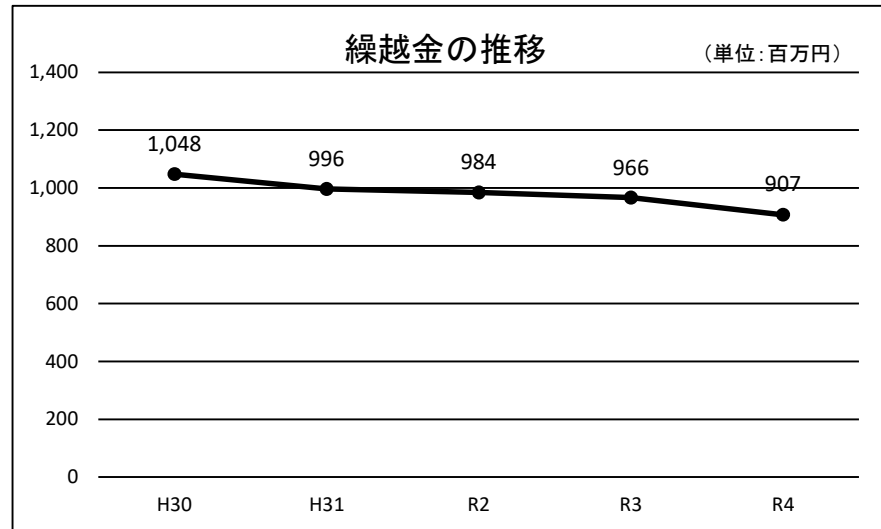
純損失と未処理欠損金の推移

(単位:千円、%)

区分	年度	4	3	対前年度比	
				増減額	増減率
純損失		87,103	46,282	40,821	△ 88.2
当年度未処理欠損金		434,928	347,825	87,103	△ 25.0

繰越金の推移

(単位:百万円)



(単位:百万円)

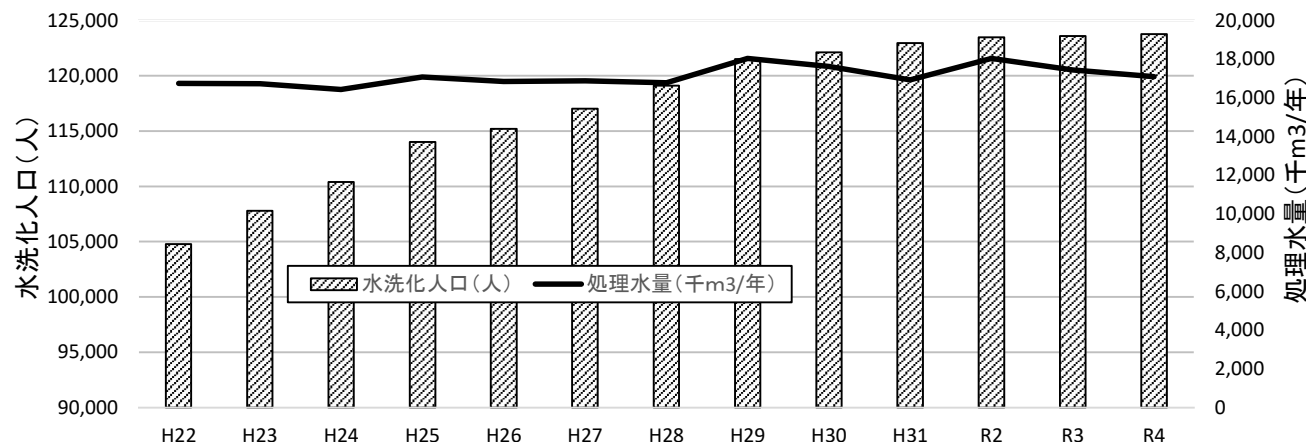
	H30	H31	R2	R3	R4
繰越金	1,048	996	984	966	907
増減	△ 81	△ 52	△ 12	△ 18	△ 59

2 今後の経営状況

令和4年度は処理水量が微減となった。近年の処理水量は横ばいが続いているが、今後は人口減少等に伴い減少が見込まれるため、維持管理にかかる費用の一層のコスト削減に取り組みながら計画的な施設の管理や更新等の実施に努め、健全な経営を目指していく。

水洗化人口と処理水量の推移

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
水洗化人口(人)	104,795	107,790	110,398	114,025	115,196	117,022	119,105	121,515	122,107	122,958	123,479	123,597	123,758
処理水量(千m3/年)	16,747	16,721	16,439	17,072	16,851	16,880	16,766	18,031	17,623	16,932	18,035	17,450	17,099



3 事業収益の状況

営業収益は、流域関連3市からの維持管理負担金を計上している。令和4年度の営業収益は8億830万円となり、前年度に比べ1,663万2千円減少した。これは流入汚水量の減少によるものである。

営業外収益は、補助金等を計上している。令和4年度の営業外収益は16億4,317万6千円となり、前年度に比べ5,970万8千円減少した。これは減価償却費の収益化に伴う長期前受金戻入の減少によるものである。

(単位:千円、%)

区分 \ 年度	年度		対前年度比	
	4	3	増減額	増減率
営業収益	808,300	824,932	△ 16,632	△ 2.0
営業外収益	1,643,176	1,702,884	△ 59,708	△ 3.5
合計	2,451,476	2,527,816	△ 76,340	△ 3.0

4 事業費用の状況

営業費用は、九頭竜川流域下水道の維持管理費や減価償却費を計上している。令和4年度の営業費用は25億610万2千円となり、前年度に比べ3,093万1千円減少した。これは主に減価償却費の減少によるものである。

営業外費用は、企業債の支払利息を計上している。令和4年度の営業外費用は3,247万7千円となり、前年度に比べ458万8千円減少した。

(単位:千円、%)

年度 区分	年度		対前年度比	
	4	3	増減額	増減率
営業費用	2,506,102	2,537,033	△ 30,931	△ 1.2
営業外費用	32,477	37,065	△ 4,588	△ 12.4
合計	2,538,579	2,574,098	△ 35,519	△ 1.4

5 企業債残高の推移

企業債残高は公営企業会計を適用する以前から年々減少しており、令和4年度末は28億6,125万6千円となった。

(単位:千円)

年度 区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
新規借入額	181,000	184,000	180,300	182,000	161,000
償還額	305,720	260,645	268,751	288,286	297,174
企業債残高	3,268,812	3,192,167	3,103,716	2,997,430	2,861,256

